

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

前立腺癌に対する逐次療法の有効性と安全性の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年1月1日から2024年12月31日までに昭和大学藤が丘病院泌尿器科で前立腺癌に対してアピラテロン、エンザルタミド、アパルタミドによる治療を行った患者さん

2. 研究目的・方法

本邦では2014年に去勢抵抗性前立腺癌(CRPC)を対象とする新規アンドロゲン受容体標的薬(アピラテロン・エンザルタミド)や化学療法薬(カバジタキセル)が承認され、更に2016年に骨転移治療薬塩化ラジウム-223が承認となりました。さらにその後、アパルタミド、ダロルタミドといった新規ホルモン剤も登場しました。新規ホルモン剤は去勢感受性前立腺癌(CSPC)でも条件を満たせば使用できるようになりました。このように前立腺癌に対する治療選択肢は増えましたが、各薬剤の使用タイミングや投与順序については明確なエビデンスは存在しません。したがって、実臨床における治療内容とその成績を調べることは、今後の適切な患者さん選択、薬剤選択、および投与時期の決定にとって一定の意義を有すると考えられます。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

血液データ(血算・生化学、PSA)、単純X線写真、CT、MRI、骨シンチグラフィー、前立腺癌の治療経過、背景(年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬)

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6 . 研究組織

研究責任者 昭和大学藤が丘病院 泌尿器科 下山 英明

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院泌尿器科

氏名：下山 英明

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-974-6264